



特集 まち(むら)協 7者7様

～それぞれに特色ある
まち(むら)づくり協議会の取り組み～

日南町では、7つのまち(むら)づくり協議会が、それぞれの地域の特色ある地域づくりの取り組みを行っています。地域のみなさんが自らの地域の課題をまち(むら)協に持ち寄り、知恵をしぼり工夫を凝らしてその課題解決に取り組んでいます。

「広報にちなん」では、各まち(むら)づくり協議会が今年度重点的に行う活動を、先月から2号にわたってご紹介しています。

多里まちづくり推進協議会

地域内の活動団体との協力による

住む人・訪れる人ともに楽しめる地域づくり

多里まちづくり推進協議会は、構成団体の自主的な活動を尊重・支援しながら、構成団体とまち協とのコラボレーションにより「持続可能な多里」を目指し、「多里で楽しめる」方法を一つひとつ形にしていこうと考えています。

今年度は、「多里の火祭り(多里是好日)」を4年ぶりに開催します。これは、旧備後街道・多里宿の街並みをろうそくの灯りとLEDで飾り、ゆつたりとした空間を楽しむイベントです。従来の愛宕祭(火の神)と宮島祭(水の神)の地域行事に合わせ、まち協が企画する灯りを楽しむイベントをコラボで実施します。

また、多里地域には、桜公園の整備作業などを行う「桜公園を守る会」や若松鉱山の魅力を発信する「多里の鉱山を語り継ぐ会」、オオサンショウウオの保護に取り組む「多里はんざけを守る会」、星空や化石など多里の素材を活かした体験活動を開催する「遊四季多里」や「にちなん森あそびの会」など多くの活動団体があり、それぞれに積極的な活動を行っています。

これらの団体の活動は、地域内外の交流を生む重要な取り組みであり、多里地域にとって大きな力となっています。今後もこのような活動の協力と後押しができるよう、まち協としても積極的な支援を行っていきます。



年3回の草刈り・伐採と施肥を行い毎年美しい桜の花が咲くようになりました。ライトアップの日には、県外の方も立ち寄ってくださいます。



「遊四季多里」が主催する星の観望会の様子です。毎回、老若男女が美しい星空と宇宙の果てに思いを馳せています。

福栄まちづくり協議会

ウォーキング大会の充実と

「交流サロン」による世代間交流の促進

令和3年度から再開した「福栄天体界道ウォーキング大会」は、昨年度は山陰両県からの参加者限定で開催しましたが、山陽方面からの参加希望の問合せも多くありました。新型コロナウイルスの状況も変わってきたことから、今年度は地域を限定せず広く参加者を募る計画としています。

野菜販売やコースの変更を望む声もあり、地域の農家との連携や複数コースの設定など、より魅力的な大会となるよう工夫したいと考えています。

町内外にこの大会を広くPRし、大会を通じて福栄を知ってもらおうことをねらいとしています。

また、福栄地域では、こども園や公園、店舗や憩いの場が地域内にないため、世代間交流が少なくなっています。そんな地域の課題を解決するため、「交流サロン」の活動を行っています。

その一環として、子ども向けの読み聞かせを行う「お話し会」を開催しており、毎回15人ほどの参加があります。今年度は読み聞かせ以外に本の貸出も検討しており、日南町で多くの動物を撮影している写真家・福田幸広さんの絵本を中心に、蔵書を充実させたいと考えています。

他にも、世代間交流の重要な拠点となっているテニスコートの整備などを行い、地域住民が「楽しく豊かに暮らせる福栄」を目指して今年度も活動を行っています。



ウォーキング大会の広報のため、チラシ配布や設置だけでなく、過去の参加者へはDMを送るなどして、広くPRを行います。



「お話し会」には、神福に移住されたカメラマンの井上浩一さんが参加され写真を撮影されることもあり、その写真はセンター内に掲示しています。

阿毘縁むらづくり協議会

特産品販売所の開設による

地域のPRと地域住民のいきがいづくり

今年度阿毘縁むらづくり協議会では、「楽しく豊かに暮らすために」のテーマに沿った地域活性化の事業を行います。

そのうちのひとつが、特産品販売所の開設です。現在、阿毘縁地域振興センター内では、阿毘縁特産グループの商品を置いて販売を行っており、センター前では週2日野菜市が開かれています。これらの取り組みは地域の魅力発信のために重要な取り組みだと考えており、この取り組みを広げること、今年度の活動の重点項目としています。

センターのうちJA阿毘縁支所があった場所は、以前は「アップルハウス」の名前で小さな商店として利用されていましたが、平成27年の閉店以降は活用されていませんでした。ここは地域の買物場や憩いの場として愛されてきた背景があり、またこの場所を復活させ、地域の特産品や魅力のPRの拠点として活用したいと考えています。

また、地域のみなさんがここに出品する商品を作る・育てることに楽しみや喜びを感じてもらい、日常生活をいきいきと過ごしてほしいという思いも込めています。

そのほかにも、旧木下家でのイベント開催に向けた施設の修繕や整備、御墓山の山道整備やPRのためのイベント開催なども計画しています。



昨年度、むら協の企画として初めて旧木下家でイベントを開催しました。今後もカフェやイベントを開催するため、必要な修繕などを行います。



JA阿毘縁支所のあった場所を整備し、特産品販売のための台とテーブル・イスなどを設置しました。センター事務所もこちらへ移転し、管理を行います。